

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

2016(28)年 週 報

9月18日

「妻を愛するは自分を愛する」

第三聖日

第 3473号

聖
言

そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。 エペソ5ノ28、29

主の弟子となる②

第三課 基本原則 御言葉を学ぶ

「あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。あのむなししい、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。そのようなものは、人の言い伝えによるものであり、この世に属する幼稚な教えによるものであって、キリストに基づくものではありません。」(コロサイ二ノ六〇八)

問題を読んでよく考えてみましょう。

一、「根ざし、建てられ、堅く」するという言葉から、私たちの信仰の成長に関してどのようなイメージが伝わってきますか。

二、この世の基本原則をいくつかあげてください。

三、いままで学んできたキリストの基本原則をいくつかあげてください。

四、哲学のとりこになるとはどういうことですか。

(C-B-T-E主の弟子より)

祈りのお願い

教会の後継者が与えられるように

神学生があたえられるように

一つ心になって互いに従順に神と人々に仕えるように
各集会毎にお祈りください。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

ました。父は、卒業まじかの神学生を連れて、両園を訪問し、学生たちに、園の聖徒方の姿と信仰を見せたのでした。学問は大切ですが、喜びに満たされ、燃えた信仰が如何に大切であるかを、学生たちに知ってもらいたかったからであります。召された後に再臨があれば、死んだ者が最初によりみがえり、主におめにかかります。

パウロは言います「聖徒を完成させてくださる」と。ですから、恵みから栄光への第二は、信仰の完成を目指す生活です。具体的には、愛の人と変えられ、愛を実行することです。

14、3節を見ると、パウロは「愛が豊かになる」と言っています。恵みから栄光への第三は、イエス・キリストによって義の実に満たされる生活であります。ここでは御霊の実をあげましょう。愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制（ガラテヤ5:22-23）。

15、当教会に、聖徒方に、神の栄光と誉れが表わされますように祈ります。

二〇一六年九月一四日午後六時半 祈禱会 山本稔牧師

「永遠の契り」ホセア二章

「わたしはあなたと永遠の契りを結ぶ。正義と公義と、恵みとあわれみをもって、契りを結ぶ。わたしは真実をもってあなたと契りを結ぶ。このときあなたは主を知ろう。」（ホセア二ノ一九、二〇）

19、20節に三回もこのことばが用いられていれ、ヤムエとイスラエルの結婚関係に対する異議はすべて封じられることが確認される。これは古い結婚関係の回復というよりは、ヤムエが新しい関係を始めてくださるという意味にとるべきである。花嫁料は5つの名詞で示される。いずれの語も神とイスラエルの間の契約関係の中で用いられる語である。「正義」は、神との正しい関係であるとともに、神がその民に求める義務を忠実に果たすことである。「公義」は法の正しい運用によって社会の秩序が保たれることである。「恵み」は、ヘセドというヘブル語を訳したもので、ホセア書において最も大切な語の一つである。こ

れは、契約によって確立する絆、それへの忠誠心、変ることのない心遣い、いかなる困難にめげず、相手の気まぐれや不実にもくじけず、不変の愛を表す語である。ヤムエのイスラエルに対する愛を指す言葉として最もよく用いられる「あわれみは」一ノ六参照。「真実」は、神の不変性と、それに根拠をおくイスラエルの社会の誠実さを指す。これらの5つの徳を、ヤムエの霊的賜物として受ける花嫁イスラエルの幸福は、計り知れない。そのイスラエルは「この時、主を知る」ようになるといわれる。この「知る」は抽象的知識でなく、全人格的な、人の生き方の根幹にかかわる知識である。具体的には、ヤムエの御旨に従い、その律法に心から服従することである。これはホセアの好んで用いる表現である（四ノ一、五ノ四、六ノ三、六）。それは、ヤムエの賜物に対するイスラエルの応答であり、感謝に満ちた信頼である。

中国の賛美

インマネリー インマネリー シェーンワメントダー
シェーンニンンダー シェーンワンンダー
シェンンダー シェンンダー インマネリー インマネリー
アーメン
ワー要山（ヨージヤ）シャシユンモー ワデイ パークソンハイライ
ワデイ パーゴ シトイエ ヤファー
カーヨン ダルヨゴシンジヨ アーメン